

| | | | |
|----------|----|-----|--------------|
| 学校 番号 | 66 | 学校名 | 飯田OIDE長姫高等学校 |
|----------|----|-----|--------------|

令和5年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和5年7月8日（土）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 学校評議員委嘱 | |
| 2 本校の概況説明 | |
| (1) 学校長より | (2) 学校自己評価表について |
| (3) 進路指導より | (4) 定時制より |
| 3 協議 | |
| (1) 評議員の方からの意見・要望 | |
| (2) 協議 | |

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・4年振りに一般公開を行った文化祭を学校評議員に見学していただき、各学科の専門性を生かした展示発表や、2学年の総合技術科目「環境とビジネス」の成果発表等に関して評価をいただくことができた。
- ・評議員会冒頭で本校の統合創立10周年記念放送番組を鑑賞していただき、意見交換の参考とすることができた。
- ・評議員が出席しやすいよう会議開催通知を早めに郵送した。
- ・評議員会当日は学校側の出席者を限定し、報告を精選することで、協議の時間を十分に確保し、評議員の方からより多くの意見をいただけるよう配慮した。そのため資料を検討していただけるよう、事前に送付した。
- ・生徒の活動が掲載された新聞記事を集めた小冊子「飯田 OIDE 長姫 Topics」と、新聞「OIDE通信」を作成し、本校の取り組みの成果や外部の評価が確認しやすいように配慮した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・昨年度の全国及び飯田市の新生児出生数の状況から、今後の深刻な人口減に対応する高校再編あり方について話題が出され、専門高校の果たすべき使命と本校の今後の方向性について様々な意見を交換した。
- ・本校生徒の卒業後の進路について深刻な就職者の減少と進学者の増加傾向でありながら国公立大学合格者の伸び悩み等について現状説明を行い、評議員からは進学者の卒業後の地元就職についての働きかけについて要望が出された。
- ・工業科の機材が老朽化しており、最先端の機器への更新が是非とも必要であるとの指摘が出され、費用面で高額な機器の購入が難しい場合は地元企業への外注をもっと積極的に検討するようアドバイスをいただいた。
- ・今年度から男女共学に移行した地元短期大学の学内の様子や、本校出身の学部生の活躍、短大卒業後に地元で即戦力として活躍できるようなカリキュラムの開発などについて情報が提供された。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・各種の先端技術講習会や課題研究における支援、地域の安全な環境の維持等、直接生徒に関わる部分での協力を学校評議員の方々に継続的に依頼し、この制度の一層の充実を図っていきたい。
- ・来年度末には本校定時制が学科改変で導入した3修制の第1期生が卒業することから、本校定時制が果たすべき役割と今後の方向性に向けて意見交換を行った。